



長崎がんばらんば大会 2014

第14回全国障害者スポーツ大会 君の夢 はばたけ今 ながさきから

審判(副)委員長

氏名: 砥上 健一

確認: 未



バレーボール競技 戦評用紙

種別

- 聴覚障害者の部(男子) 聴覚障害者の部(女子)
 知的障害者の部(男子) 知的障害者の部(女子)
 精神障害者の部

(該当する会場に■印)

会場

- 諫早市中央体育館
 島原復興アリーナ
 佐世保市体育文化館

(該当する会場に■印)

平成 26 年 11 月 2 日 日曜日 第 2 日目

A

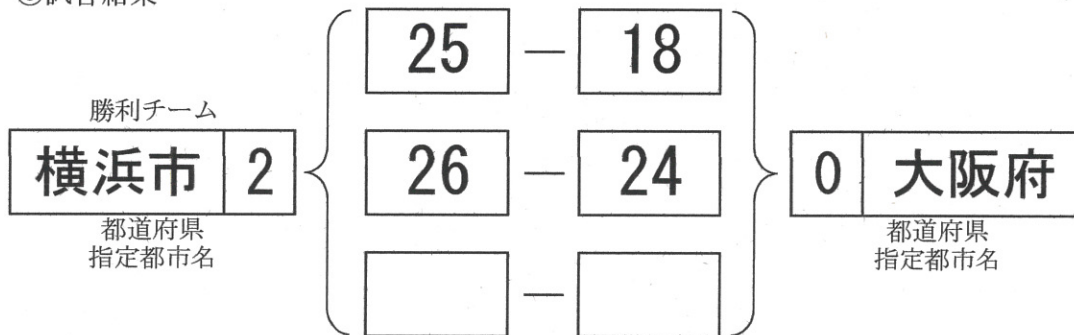
コート

第

9

試合

◎試合結果



【審判員】

主 審: 石隈 孝典 (長崎県) 副 審: 今鹿倉 隆 (長崎県)

記録員: 坂中 千華 (長崎県) A・S: 荒木 忠博 (長崎県)

【戦 評】

記載者: 友松 宏之 (戦評委員)

決勝戦は、大会3連覇を狙う横浜市と、連覇を阻み優勝を掴みたい大阪府との対戦となった。立ち上がり大阪府が3-1とリードし、ペースを掴むかと思われたが、横浜市4番下條選手の、相手コートをよく見たスパイクとフェイントで横浜市がリードを奪い返す。その後も横浜市は1番主将の林選手のバックアタックなどで、点差を開く。大阪府は、4番北川選手のクイックと、3番立岡選手のバックアタックなどで反撃するが、堅守を見せた横浜市が1セットを奪った。第2セットは、序盤から横浜市が11番清水選手のブロックなどで8-4とリードする。しかし、大阪府も8番松岡選手のスパイクとサーブで得点し、1番中村選手、4番北川選手の必死のレシーブが相手のミス进行を誘い、ついに16-15と逆転に成功する。その後、横浜市が追い上げ、20-20で同点になるが、ここから横浜市に3連続ミスが出て、大阪府23-20とリード。諦めない横浜は1番林選手、4番下條選手が立て続けにスパイクを決め、23-23と再度同点に追いつく。24-24となりデュースに突入し、最後は、大阪府の2連続ミスにより、横浜市の3連覇が決まった。

150

300

450